

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-新築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスリード太秦一ノ井町計画	階数	地上5F
建設地	京都市右京区太秦一ノ井町24番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	176 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年7月19日
敷地面積	1,824.39 m ²	作成者	アクセス都市設計 小川 哲史
建築面積	1,012.40 m ²	確認日	2018年7月20日
延床面積	4,145.65 m ²	確認者	アクセス都市設計 湯淺 勝也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 躯体材料の耐用年数や、空調・給排水配管の更新必要間隔が長くなるように配慮した。 住戸は、高い昼光率を確保し、太陽光発電やエコジョーズ、LED照明を採用し、地域環境および周辺環境への配慮を行った。		その他
Q1 室内環境 内装の仕上げにはF☆☆☆☆を採用し、化学物質の発生に配慮した 専有部には光を多く取り入れるよう配慮した	Q2 サービス性能 各住戸にはGbitクラス以上のブロードバンドが利用可能な環境を整備し、躯体材料は品確法劣化対策等級3とし、耐用年数が長くなるよう配慮した	Q3 室外環境(敷地内) シンボルツリーや緑地を道路に面する敷地角に配置し、隣地境界部分には生垣や低木を配置した
LR1 エネルギー 太陽光発電やエコジョーズ・LED照明を採用し、設備システムの高効率化に努めた	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用回避に配慮した。	LR3 敷地外環境 自転車スペースを適正に確保し、地域インフラへの負荷抑制に努めた 屋外広告物はなく、光害の抑制に努めた

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される